

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 大里柳 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和4年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

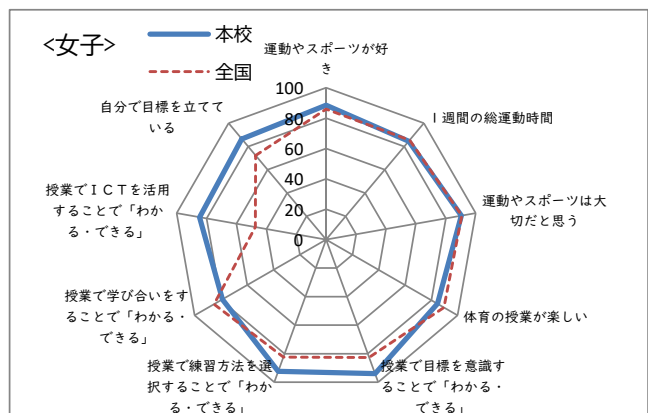
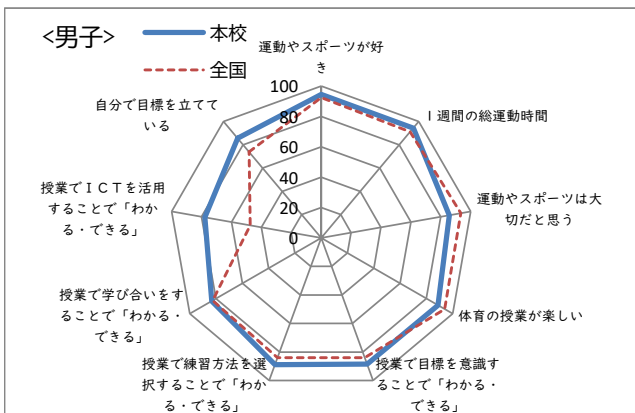
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	2.0mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.21	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
本市	16.29	18.72	34.05	39.47	46.86	9.51	151.13	21.34	52.55
本校全国平均以上の種目					○			○	

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	2.0mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31
本市	16.24	17.46	38.12	37.90	38.13	9.69	144.81	13.31	54.12
本校全国平均以上の種目					○				

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

本年度の本校の質問紙のうち、「運動やスポーツが好き」「授業で目標を意識することで（分かる・できる）」「授業で練習方法を選択することで（分かる・できる）」「授業でICTを活用することで（分かる・できる）」「自分で目標を立てている」の項目については、「思う」「やや思う」をプラス評価とすると、男女とも全国と比べ上回っている。

各担任や体育科専科教員が、日々の体育科の授業に関して、目標の提示を行い、見通しを明らかにしたり、体育科の授業の中で運動量の確保を行いながら、「話し合う活動」を取り入れ、児童相互が交流し、理解を深めたり経験を共有したりする活動ができたことが要因であると考えられる。

しかしながら、質問紙のうち、「運動やスポーツは大切」「体育の授業は楽しい」の項目については、男女とも全国と比べ下回っている。

今後、体育を好きにさせ、楽しく運動させるために、教師も一緒に運動し、「先生の体育は楽しい」「先生の体育は大好き」と期待される体育科の授業づくりを目指していく。また、運動を補助し、ポイントを指導する「教師の出番」で子どものやる気を育てていく。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

- 授業改善のための「体育授業のポイントシート」や北九州市向上プログラム『体育「好きっちゃ」プログラム』の活用を積極的に行う。
- タブレットのカメラ機能などのICT機器を使って、児童が課題を見つけることができるような授業に取り組む。
- 運動量や活動時間の確保の為に、指示は短く、ポイントを絞って伝える。
- 授業始めの「めあて」の設定。授業終わりの「ふり返り」を確実にを行う。
- 体育専科による、専科以外の学年（1～4年）への、授業改善の工夫などの紹介を行う。
- 1校1取組として、時期に応じた取組を行う。
- 各担任が、体育科の授業の中で運動量の確保を行いながら、「話し合う活動」を取り入れ、児童相互が交流し、理解を深めたり経験を共有したりできるようにする。
- 全教職員で体育科実技研修会を実施し、具体的な指導法を学び、授業力の向上を図る。
- その日の学習にあった予備的な準備運動を行い、運動量を確保を行いながら、学習を行う。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

- 新型コロナウイルスの対策を十分した上で、中休みや昼休みの運動場使用の児童数を緩和し、より多くの児童の外遊びを推進する。
- 体力向上担当、体育委員会が中心となり、15分休みを利用して、「5分間走」「長縄跳び」を実施。クラスの仲間意識を育てながら、児童の体力向上を図る。
- 体育科の学習の準備運動に「ジャンプアップ運動」を取り入れたり「『好きっちゃ』プログラム」を取り入れた授業展開を行う。